

# 「申請・届出等各種様式の統一化」(H18.6~)

【幹事】 佐賀県 総務部 法務私学課

【参加県】 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

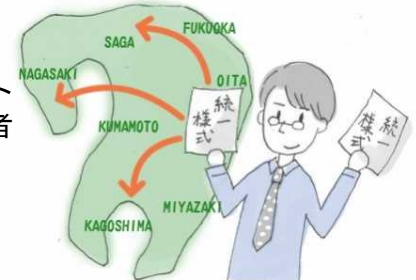
## 目的

各県の申請・届出等の様式を統一化し、法人や県民の負担の軽減を図ることで、住民・企業に広域行政のメリットを感じていただき、道州制に対する住民の意識の涵養につなげる。

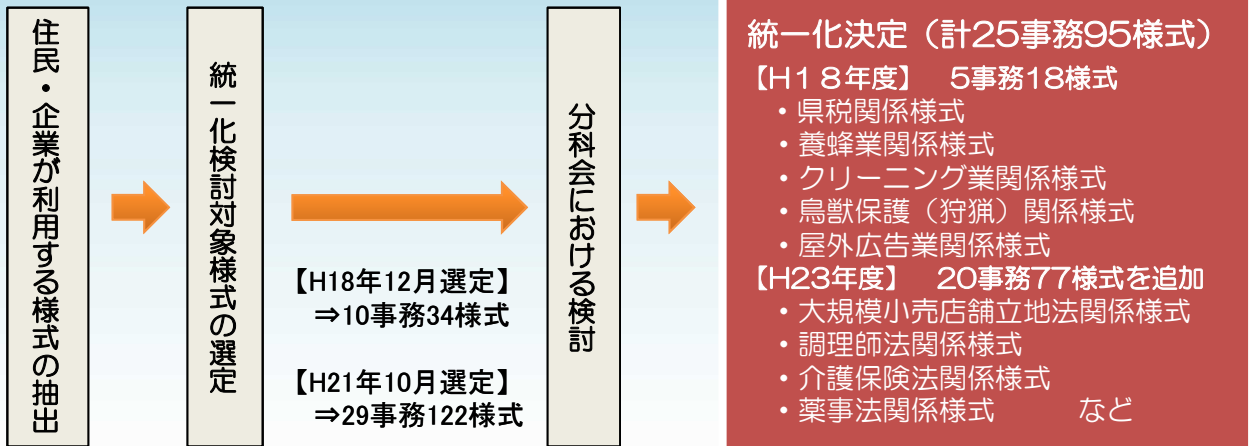
## 取組内容・成果

○ 同一事業者等が複数の県に申請する事務に係るものなど、統一化のメリットが大きいと判断される申請・届出等の各種様式について、各県の事務担当者で構成する分科会をそれぞれの事務ごとに設置して検討を実施。

○ 平成18~23年度で、**25事務95様式の統一化**を達成。

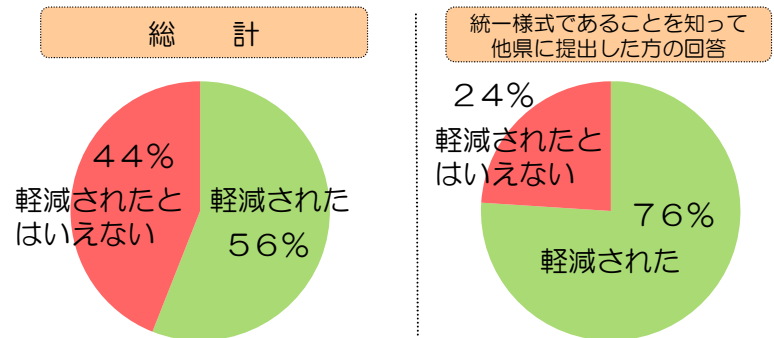


### 《統一化作業の流れ》



事務権限が市町村へ移譲されていたり、制度に対する各県の施策の違いや独自の審査項目の有無など、統一化への様々な制約がある中で、各県との協議を重ね、県税関係や屋外広告業関係の様式等、県域をまたがって活動する者(法人)にメリットのある様式を統一化することができた。

【H21年9月 統一化様式利用者アンケート実施結果】  
Q. 統一様式を利用したことで事務負担が軽減されましたか？



## 今後の課題・取組

統一化した95様式については、今後、法改正等により改正が必要となる可能性がある。  
様式改正に当たっては、今回の統一化作業の経験を生かし、県民や事業者等の負担の軽減を図るといふ共通認識のもと、様式の統一化が維持されるよう、協議を行っていく。